

宮城県感染症発生動向調査情報(第18週)

宮城県【平成25年05月09日】発行
 宮城県保健環境センター
 TEL (022)257-7228

- 2013.4.29 ~ 5.5 ・ 第18週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第15週	第16週	第17週	第18週
水痘	5 1.00	5 0.50	4 0.80		4 1.33	8 1.60	2 1.00	14 0.54	42 0.72	1,291	◎ →	○ →	○ →	○
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10	1 0.20			5 1.00	4 2.00	4 0.15	16 0.28	420	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	39 7.80	47 4.70	11 2.20	11 5.50	19 6.33	38 7.60	9 4.50	187 7.19	361 6.22	7,363	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	1 0.20	1 0.10	3 0.60	1 0.50		1 0.20			7 0.12	159	→	→	→	
伝染性紅斑							2 1.00	1 0.04	3 0.05	161	→	→	→	
突発性発しん		3 0.30	4 0.80		2 0.67	3 0.60	1 0.50	9 0.35	22 0.38	585	○ →	○ →	○ →	レ
ヘルパンギーナ						1 0.20			1 0.02	15	→	→	→	
インフルエンザ	23 2.88	9 0.60	40 5.00			8 1.00	1 0.25	31 0.74	112 1.20	15,198	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱		2 0.20		1 1.00		1 0.20		11 0.42	16 0.28	293	→	→	→	
流行性角結膜炎								2 0.33	2 0.17	42	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30 6.00	14 1.40	6 1.20		7 2.33	27 5.40		20 0.77	104 1.79	1,970	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	6	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		5 5.00		1 1.00	1 1.00	1 1.00	4 4.00	2 0.40	14 1.17	354	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		1 0.10				1 0.20			2 0.03	213	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	7	5	2	1		3	2			：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病	1									【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
	不明発疹症													

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 女性1名
 - 気仙沼管内 男性1名
 - 仙台管内 男性1名(第17週)、男性2名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 仙南管内 男性1名
- 5類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病
 - 仙台管内 男性1名
- 風しん
 - 塩釜管内 男性1名(検査診断例)
 - 石巻管内 男性1名(臨床診断例)
 - 仙台管内 男性3名(臨床診断例)、女性1名(臨床診断例)

*男児、女児は6歳未満

今週のインフルエンザによる入院患者報告 (仙台市を含む基幹定点報告) 1例

今週の感染症のコメント

ー 宮城県感染症対策委員会情報解析部会ー

【風しん】

全国的な傾向と同様に、20歳代、30歳代の男性の報告例が多いので、この年齢層は妊婦と共に特に注意が必要である。

【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第16週採取分 (4.15～4.21)	第17週採取分 (4.22～4.28)	第18週採取分 (4.29～5.5)
RSウイルス	2件	3件	0件
アデノウイルス	1件	2件	2件

【定点医療機関について】

表中各項目の下段にある「定点当たり」とは、各保健所管内の患者発生数(表中上段)を、県が情報を求める各定点医療機関数で割った値を示し、感染症の動向の指標となる数値です。現在の定点医療機関数は下記となっています。

1.週報報告

	宮城県	仙台市	県全体
インフルエンザ定点			
内科定点	20	16	36
小児科定点	32	26	58
インフルエンザ定点	51	42	93
眼科定点	6	6	12
基幹定点	7	5	12

2.月報報告

	宮城県	仙台市	県全体
性感染症定点	9	8	17
基幹定点	7	5	12

インフルエンザ定点

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。宮城県:51定点 仙台市:42定点 合 計:93定点

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群											総数 (人)
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	
2013年 第13週	20.5	22.0	16.1	4.4	8.8	7.8	6.3	6.3	3.4	2.9	1.5	205
第14週	25.2	24.5	8.8	3.8	3.8	15.1	8.2	3.8	3.1	1.9	1.9	159
第15週	26.8	24.1	9.8	3.6	6.3	6.3	6.3	4.5	2.7	1.8	8.0	112
第16週	11.6	25.9	30.2	9.5	2.1	3.2	6.3	4.8	2.1	2.6	1.6	189
第17週	23.5	30.9	22.6	5.1	1.4	3.7	4.6	3.7	0.5	2.3	1.8	217
第18週	27.7	29.5	20.5	5.4	4.5	7.1	0.9	0.9	0.9	0.0	2.7	112

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第16週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では石川県(7.48)、岐阜県(5.66)、秋田県(5.05)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は607例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は増加した。都道府県別では宮城県(1.08)、福岡県(0.83)、山形県(0.63)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 報告数は増加した。鳥取県(4.53)、石川県(4.48)、富山県(4.00)が多い。**感染性胃腸炎:** 報告数は増加した。大分県(14.58)、島根県(13.35)、長野県(10.33)が多い。**水痘:** 報告数は2週連続で減少した。宮城県(2.50)、大分県(2.25)、山口県(2.09)が多い。**手足口病:** 報告数は2週連続で増加した。沖縄県(4.94)、島根県(2.52)、福岡県(1.90)が多い。**伝染性紅斑:** 報告数は2週連続で増加した。富山県(0.72)、岩手県(0.23)、新潟県(0.22)が多い。**百日咳:** 報告数は増加した。高知県(0.10)、大分県(0.06)、岡山県(0.04)が多い。**ヘルパンギーナ:** 報告数は第12週以降増加が続いている。長崎県(0.68)、沖縄県(0.24)、福岡県(0.20)が多い。**流行性耳下腺炎:** 報告数は2週連続で減少した。福井県(1.27)、秋田県(0.89)、佐賀県(0.70)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 報告数は増加した。富山県(1.60)、埼玉県(1.40)、石川県(1.20)が多い。